

別紙①
一般社団法人日本心身医学会認定医療心理士のための研修ガイドライン

◎各項目の研修カリキュラムは、研修診療指定施設の任意とする。

A 基礎理論

1 総論

- 1) 日本心身医学会認定医療心理士としての心構え、治療的自我の養成
- 2) 患者についての理解
患者心理、心身の発達、医師と患者、心理士と患者、他のコメディカルスタッフと心理士の関係など
- 3) 心身医学、心身症の概念および定義
- 4) 医療基本分野
 - i) 医学の基礎
 - a) 公衆衛生学
 - b) 医学概論・医学総論
 - c) 薬理学・薬理学一般
 - ii) 医療システム
 - a) 情報診療録
 - b) POS（問題志向式システム）
 - c) 健康保険制度の知識

2 心身医学の歴史

- 1) 諸外国における心身医学の流れ
- 2) 日本における心身医学の流れ
- 3) 東洋的アプローチ

3 心身関連の病態

- 1) 情動の身体反応
情動の脳機構—大脳皮質、辺縁系、視床下部、脳幹の反応
自律神経系、内分泌系、免疫系の反応
ストレスと身体反応
※疾患モデル
※器官選択
- 2) 医療心理学の基本
精神力動論（精神分析の概要）
条件づけ理論
学習理論

人間学的心理学

4 行動科学

- 1) 人間の性格、行動と疾患
- 2) 社会、文化的人間論（環境ストレス疾患）

5 精神薬理学の基礎

B 臨床応用

1 心身医学的査定（心身症の査定）

- 1) 病歴のとり方
- 2) 診断と査定
 - 必要最低限の臨床検査
 - 臨床検査成績の評価
 - 心身相関の把握
- 3) 鑑別診断（査定）
 - 精神病、不安障害、人格障害、内分泌疾患、悪性腫瘍などとの鑑別
- 4) 臨床心理学的査定
 - i) 発達及び知能検査
 - WAIS-R 成人知能検査、田中ビネー知能検査 等
 - ii) 人格検査
 - パーソナリティインベントリ、Y-G 性格検査、エゴグラム、バウムテスト、SCT、P-F スタディ、MMPI、ロールシャッハテスト 等
 - iii) その他の心理検査
 - SDS、STAI、CMI、GHQ、MAS 等

2 心身医学的治療（心身症の治療）

- 1) 治療のゴール
- 2) 薬物療法（向精神薬その他）
- 3) 簡易精神療法
- 4) カウンセリング
- 5) 環境調整（ソーシャル ケースワーク）
- 6) 自律訓練法
- 7) 筋弛緩法
- 8) 交流分析療法
- 9) 精神分析的療法
- 10) 家族療法
- 11) 行動療法（認知行動療法を含む）

- 12) バイオフィードバック療法
- ※13) 絶食療法
 - 14) 森田療法
- ※15) 内観療法
 - 16) ゲシュタルト療法
 - 17) 集団療法
 - 18) 箱庭療法
 - 19) 芸術療法
 - 20) ライフスタイルの修正
 - 21) 他の医療専門職 (co-medical staff) との協力・チーム医療の実践

3 臨床各領域における心身医学（心身症の治療）

- ※1) プライマリ・ケアと心身医学
 - 2) 内科領域
 - 循環器、呼吸器、消化器、神経系、内分泌、代謝系
 - 運動器（骨、関節、筋肉）、アレルギー
 - 3) 精神科領域
 - 気分障害、不安障害、身体表現性障害、摂食障害 等
 - コンサルテーション・リエゾン精神医学
 - 4) 小児科領域
- ※5) 外科、整形外科領域
- ※6) 産婦人科領域
- ※7) 皮膚科領域
- ※8) 泌尿器科領域
- ※9) 眼科領域
- ※10) 耳鼻咽喉科領域
- ※11) リハビリテーション領域
 - 12) 生涯各期の心身医学（心身症）
 - 小児期
 - 思春期
 - 成人期
 - 老年期
 - 13) 死の臨床

※印は、選択項目とする。ただし、これらの項目についても心身医学・医療心理学に関する必要最低限の事項は一応理解しておくことが望ましい。